

WJ テレプロンプター 取扱説明書

三脚をテレプロンプター専用で使う場合
三脚 2 台用

こちらは
「三脚をテレプロンプター専用で使う場合」の
取扱説明書です。
三脚を2台用意し、カメラとは別に
組み立てていきましょう

目次

- ◆ 製品のご紹介
 - 梱包されているもの
 - 各部品の名前
- ◆ 取り付け手順
 - 【1】 部品を組み立てましょう
 - 【2】 三脚に取り付けましょう
 - 【3】 モニター板を取り付けましょう
 - 【4】 ガラス板を正しく取り付けましょう
 - 【5】 前面モニターをつける
 - 【6】 セットアップ完了
- ◆ もっとよく知る
 - 困った時は…

準備

セットアップ

よく知る

取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください
使い方、セットアップの仕方については、アテインのサイトでも動画などでご紹介しています

<http://www.attainj.co.jp/production/teleprompter-wj.html>

製品のご紹介

製品の特長

テレプロンプターWJ をお買い上げいただきありがとうございます
テレプロンプターWJ は、カメラの三脚に取り付ける撮影用機器です。

カメラレンズの前にハーフミラーを取り付け、
ハーフミラーに投影した原稿を読むことで、
出演者のカメラ視線を維持することができます。

PC側のソフトで反転表示させ、LCDモニターに原稿を表示します。
カメラには原稿は映りません。原稿は自動でスクロールします。
カメラマン側からは、ミラーに映った原稿は見えません。
スタジオの撮影、スピーチ、演説、コンサートの撮影など幅広く利用できます。

WJテレプロンプター	ハードウェア
サイズ	19インチ～22インチ
ガラス厚さ	2mm
ガラス反射率	50%
Video Inputs	BNC (Composite), VGA, HDMI
重さ	8kg
コンプライアンス	CE, FCC, ROHS



梱包されているもの

お買い上げいただいた商品には以下のものが同梱されています。

※パーツの細かい仕様、部品の色などは予期なく変更される可能性もあります。あらかじめご了承ください。



LCD モニター

カメラ用レール台……………1
三脚用アタッチメント……………1



通常はこのような状態で梱包されています

カメラ台……………1 ミラー台……………1

< 図 1 >

LCD モニター

パーツ、ねじ、部品、コード類など

フードフレーム

ハーフミラー



VGAケーブル



フードフレーム

モニター用レール台……………1
モニター用オプションパーツ…1
モニター用アタッチメント……2

通常はこのような状態で梱包されています



傷や汚れが付かないように白手袋でお取り扱ってください。梱包材を軽く解いたら安全な場所へ置きます



ハーフミラー

ソフトウェア CD-R ……………1
取扱説明書……………1
小袋に入っているもの

- ドングル……………1
- 六角穴付皿ボルト (大 4 小 2)……6
- プラスねじ……………2
- フードフレーム止めねじ……………2
- 六角レンチ……………2

< 図 1 >

お客様側でご用意いただくもの

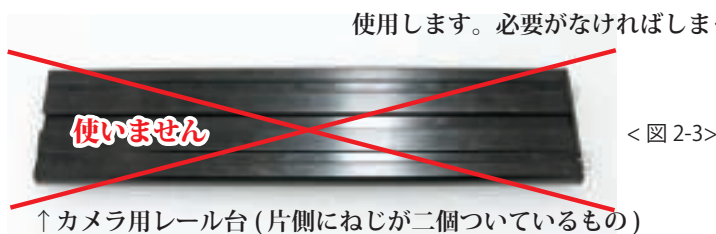
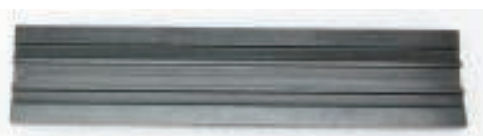
- ・カメラ
- ・三脚 (カメラとプロンプターを別にする場合は二台必要です。耐荷重 20kg 以上)
- ・ドライバー類
- ・白手袋 (ハーフミラーを取り扱う際に傷や汚れが付かないようなもの)

各部品の名前

【1】下準備をしながら部品の確認をしましょう

①アタッチメントがついてるものはいったん外しておきましょう

モニター用レール台とモニター用アタッチメント、
カメラ用レール台と三脚用アタッチメントは別々に外しておきます。



モニター用
アタッチメント二個
ねじを緩めて外します

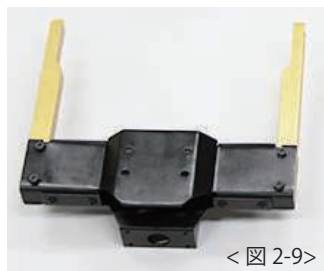


②フードフレームのフードも外しておきます



③裏表など正しい位置がある物をここで確認しておきます。

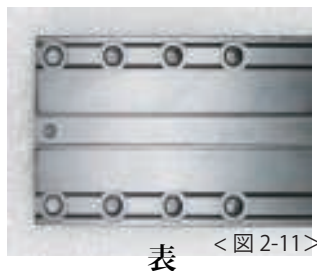
ミラー台は <図 3>
目盛がある方がカメラマン側



ハーフミラーは
表裏を間違えるとぼやけます



モニター用レール台は
くぼみのある側からねじを
締めます



取りつける前に確認をしておくと
手戻りも少なく、スムーズに
設置が行えます

下準備

【1】部品を組み立てましょう

①モニター用レール台とモニター用アタッチメントの準備

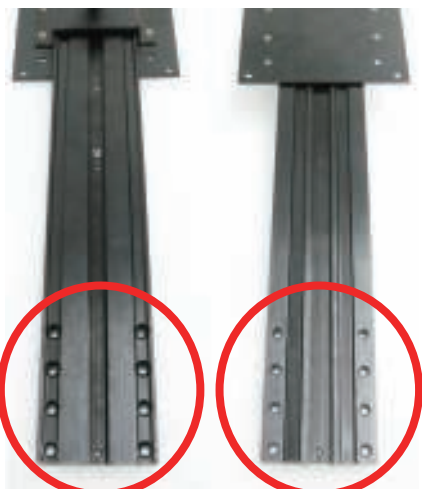


表 裏 <図 3-1>

モニター用レール台には表と裏があります。

穴が窪んでいる方が表です。

モニター用レール台は表側からねじをはめていきます。

向きを確認したらモニター用アタッチメントは
モニター用レール台から外しておきましょう。



<図 3-3>

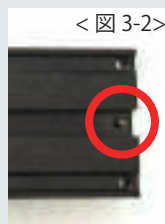
モニター用レール台の下準備をします。

長いほうの部品がテレプロンプターに使用する

モニター用レール台です。

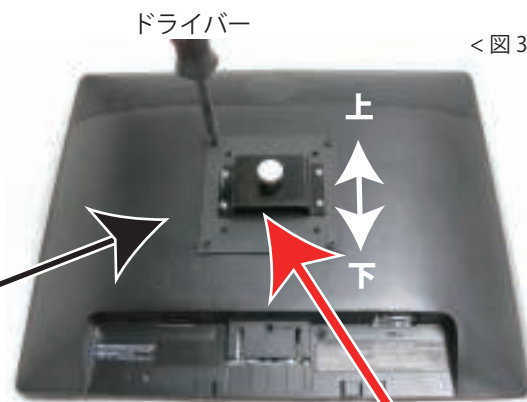
(レールに穴がない方は前面モニター用のオプションパーツです。

オプションパーツは必要がなければしまっておきましょう)



<図 3-2>

溝のストッパーとして
締められているねじを
始めに外しておきましょう。
このねじはモニターを設置した
後に滑り止めとして締めます。

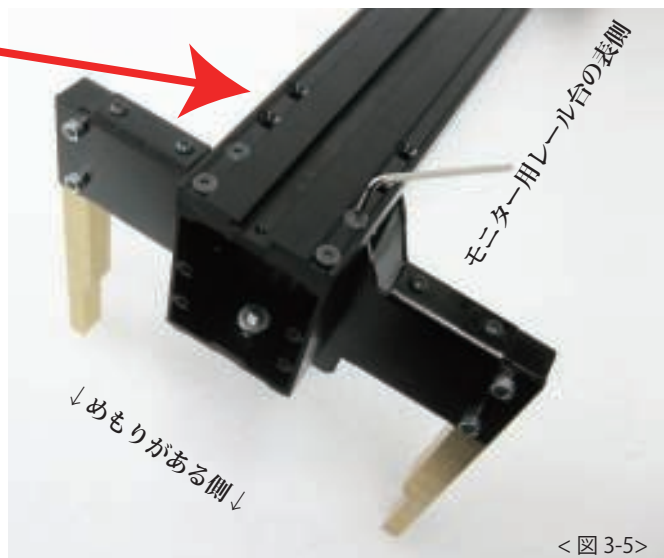


ドライバー

<図 3-4>

モニター用アタッチメントは
モニターに設置しておきましょう。
モニターについているねじを外して取りつけます

②ミラー台とモニター用レール台を設置しておきましょう。



<図 3-5>

モニター用レール台の端の2つ(計4つ)をねじで締めます

ミラー台はメモリがある側がカメラ側となります。
モニター用レール台の表側から
六角穴付皿ボルトを、六角レンチで締めていきます



<図 3-6>

六角穴付皿ボルト(4本)



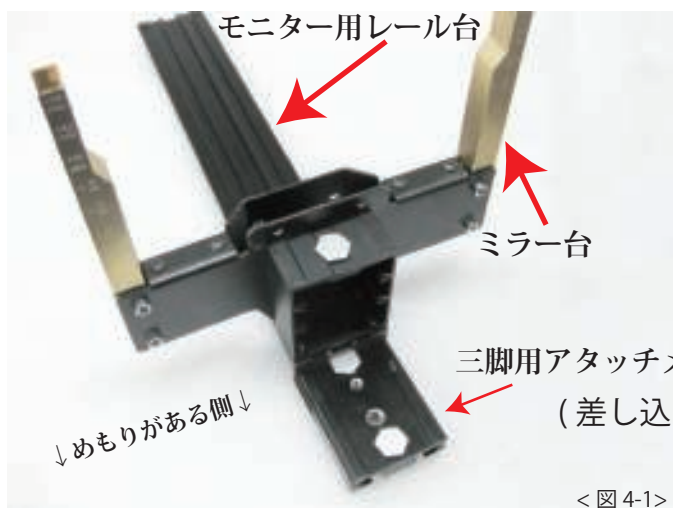
<図 3-7>

六角レンチ

下準備

【2】三脚に取り付けましょう

モニター用レール台に三脚用アタッチメントを設置します



①三脚用アタッチメントの表側のねじを少し緩め、裏側の六角形の金具を少し浮かせてレール台の下側(三脚側)の溝に引っかかるようにセットしましょう。

三脚用アタッチメントの表側



ここをコインやドライバーなどで緩める

三脚用アタッチメントの裏側



六角形の金具がスムーズにレール台に通るように少し浮かせる



この部分に引っかけるように差し込みます

レール台にアタッチメントを差し込む際には、金具の六角形的位置に注意して下さい。

レール台の下側の溝と、アタッチメントの裏側の六角形の辺とが平行になるようにレール台に差し込みます。



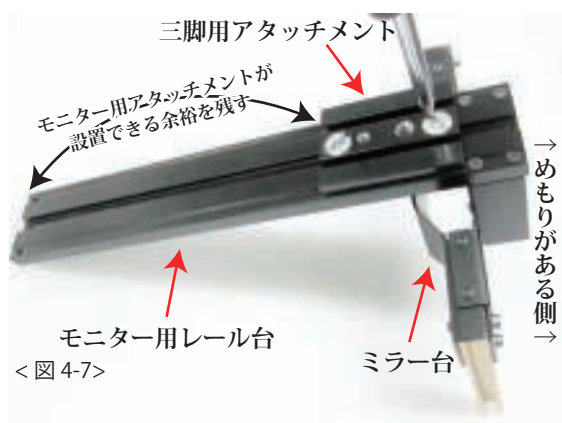
<図 4-5> 三脚用アタッチメント

○とがっている部分と平行になるように差し込みます



<図 4-6> 三脚用アタッチメント

✕とがっている部分と溝が垂直になると、とがっている部分が引っかかって入りません



②三脚用アタッチメントの位置を調整し、ドライバーなどでねじを締めて固定してください。三脚用アタッチメントはモニター用アタッチメントが入る余裕を残して配置するようにしてください。

前面にモニターを増やす場合は重量が増えるのでバランスよく配置して下さい



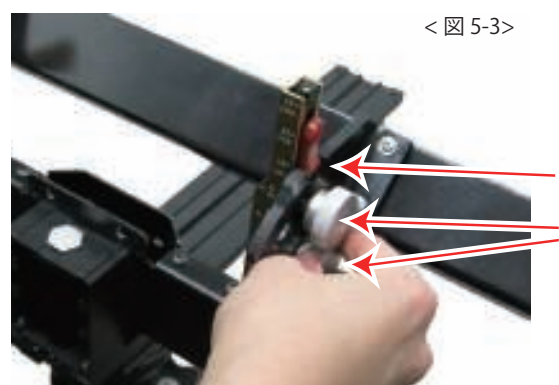
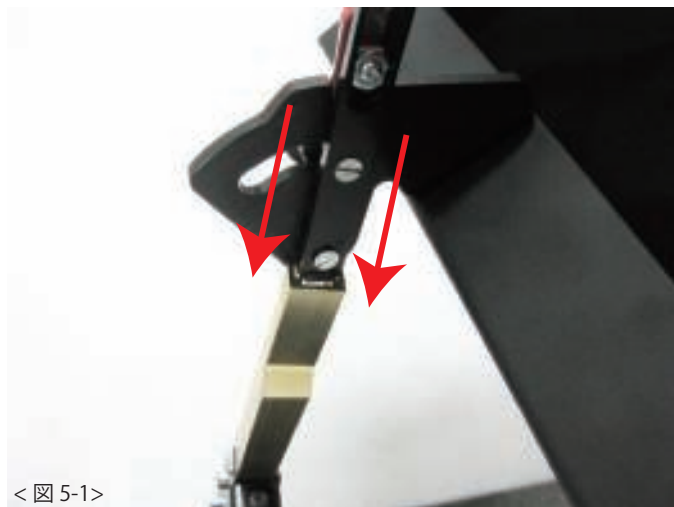
<図 4-8>

③三脚にアタッチメントのねじ穴を合わせレール台ごと回してねじを締めます。緩むことのないように取り付けましょう。

【3】フードフレームの枠を設置

フードフレームの枠を設置します

内側のバーをそれぞれ挿入します



カメラが来る位置に合わせて、
メモリの高さを調整しましょう

赤いストッパーが溝に入っている事を確認したら
銀色のねじを両方とも締めます

モニター画面が上になるように、
モニター用レール台にモニターを通してください



モニターのコード接続部分が
カメラマン側に来るように設置しましょう



位置を決めたら、モニター板についている
銀色のねじをしめてください。

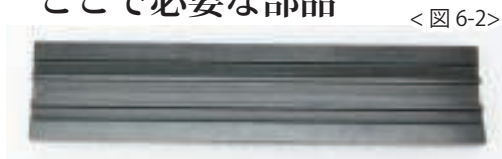
【オプション】 前面モニターを使う場合 【3】 モニターの取り付け



プロンプターの前面にモニターをつけ、顔出しのチェック用や、時間の表示などにお使い頂けます。

(前面用のモニターは付属しておりません
お客様側でご用意ください
使用しない場合はこのページを飛ばして
次のページへお進みください)

ここで必要な部品



<図 6-2>



<図 6-3>



<図 6-4>

モニター用オプションパーツとモニター用アタッチメント、六角穴付きねじ。モニターはお客様側でご用意ください。



<図 6-5>



<図 6-6>

①短めの板には、穴が2つついている面があります。

②モニター用レール台と六角穴付きねじで結合します



<図 6-7>



<図 6-8>

③このような形になりました。

④前面の短いモニター板に、モニター用アタッチメントをつけたモニターを装着させてください。

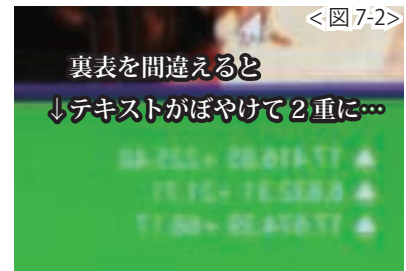
作業する際にモニター用レール台が短く、モニター用オプションパーツが設置しづらい場合はミラー台をいったん外し、モニターの位置をずらして作業を行ってください。

ハーフミラーを設置しましょう

まず、白手袋を装着し、傷や汚れのつかないように気をつけて梱包材から取り出します



ハーフミラーには表と裏があります
表裏を間違えると
文字などがぼやけてしまいます
シールを確認し、
正しく設置をするようにしましょう



カメラ側を手前にハーフミラーを枠に乗せます。上から差し込むようにスライドさせて入れてください。
枠は鉄製なので、ガラスが割れてしまわないように、置く直前に裏側から指を添えるなどして慎重に置いてください。



フードフレーム止めねじでフードと枠を留めます

セットアップ完了



モニターとVGAケーブルでパソコンにつなぎましょう

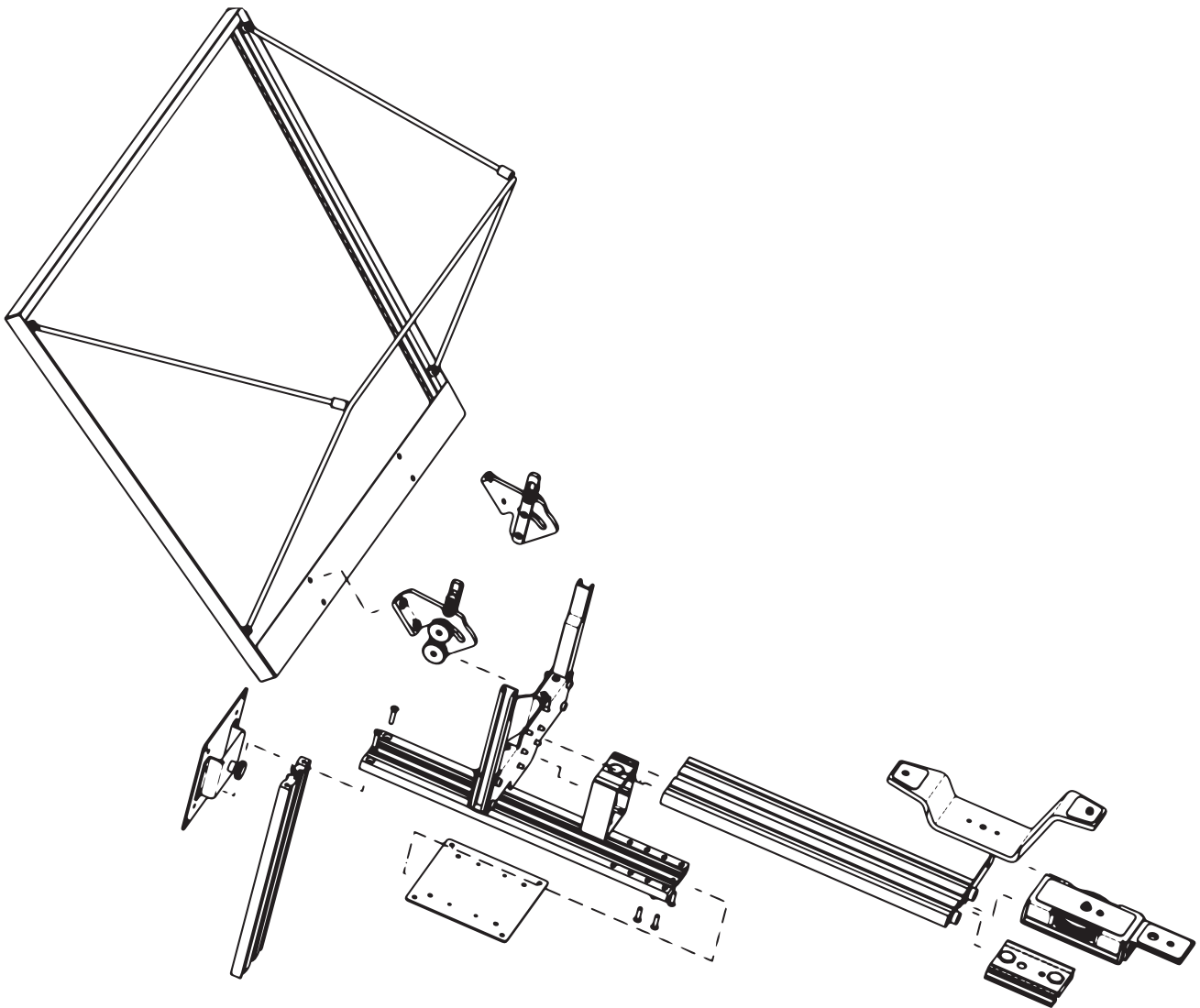


モニターの電源を入れると
このようになります

画面を反転する場合は
パワーポイントなどのソフトを
使用するか

付属する「 dongle 」で専用の
ソフトウェアを使用して反転させます





取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください
使い方、セットアップの仕方については、アテインのサイトでも動画などでご紹介しています

<http://www.attainj.co.jp/production/teleprompter-wj.html>

お問い合わせはこちらまで

アテイン株式会社

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2丁目19番8号 酒井ビル

TEL 03-3255-4721 Mail info@attainj.co.jp Web <http://www.attainj.co.jp/>

【YouTube：Attain チャンネル】 <http://www.youtube.com/user/AttainDVD>